

聴講歓迎 参加無料

## 令和6年度 シンビオ社会研究会第5回講演会

=====**第7次エネルギー基本計画を考える**=====

主催:NPO 法人シンビオ社会研究会

共催:京都大学エネルギー理工学研究所

協賛:日本保全学会西日本支部

大阪国際サイエンスクラブ

有機太陽電池コンソーシアム

関西原子力懇談会

日時:令和7年2月7日(金) 14時30分~17時00分(開場14時15分)

場所:京都大学宇治キャンパス本館5階N棟エネルギー理工学研究所本館会議室(N571E)  
及びZOOM併用

交通:JR奈良線黄檗駅または京阪電車宇治線黄檗駅 地図は・・・[こちら](#)

### 【趣旨】

このたび我が国では第7次エネルギー基本計画が公表されました。しかし現下の世界情勢のなか、社会にはその目標設定のあり方や目標の実現性についてそれぞれの立場から様々な意見が提起されています。そこで今回の講演会では政府審議会第7次エネルギー基本計画の審議に参画された秋元圭吾先生(RITE)と、エネルギー資源庁傘下のエネルギー総合工学研究所理事長寺井隆幸先生の2名の識者をお招きして、第7次エネルギー基本計画そのものを理解する講演を戴くことに致しました。

講演会ではお二人の講演ののち、当会副会長の吉川暹氏(京大名誉教授)の司会により、講演会の参加者からの問題提起や新たな技術開発など多角的な発言を受けての総合討論の時間をもちます。多数の皆様のご参加を期待しております。

~~~~~プログラム~~~~~

総会司会:森下 和功 当会理事

1.開会の辞:吉川 栄和 会長 (14:30-14:35)

2.講演I (14:35-15:25)

司会:吉川 栄和 当会理事

演題:「第7次エネルギー基本計画—その構想と課題」

講師:秋元圭吾(あきもと けいご)氏 (公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)  
システム研究グループ グループリーダー・主席研究員)

【プロフィール】:専門はエネルギー・地球環境を中心としたシステム、政策の分析・評価。  
IPCC第5次、第6次評価報告書代表執筆者。総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員など政府の委員会委員も多数務める。

### 【講演要旨】

再生可能エネルギーと原子力によるカーボンニュートラル実現への観点から、第7次エネルギー基本計画についての構想とポイントを語っていただく。



### 3. 講演2. (15:25-16:15)

司会: 森下 和功 当会理事

演題: 『カーボンニュートラルのための原子力開発—現状・課題・将来—』

講師: 寺井隆幸(てらい たかゆき)氏 (一般財団法人エネルギー総合工学研究所理事長)

#### 【略歴】

兵庫県神戸市生まれ。東京大学工学部原子力工学科、大学院工学系研究科修士課程、博士課程(原子力工学専攻)、日本学術振興会奨励研究員を経て東京大学工学部助手(原子力工学研究施設)に採用。

米国ローレンスリバモア国立研究所客員研究員、東大工学部助教授、ドイツ・カールスルーエ原子力研究所客員研究員、東大大学院工学系研究科教授(システム量子工学専攻)、同工学部システム創成学科(環境・エネルギーシステムコース)併任、大学院工学系研究科附属原子力工学研究施設(東海村)、原子力国際専攻、大学院工学系研究科総合研究機構長を経て。

2020.3 東京大学定年退職・東京大学名誉教授。2020.8 一般財団法人 エネルギー総合工学研究所理事長に就任。

専門分野は、原子力工学・核融合炉工学、環境・エネルギー材料の物理化学、粒子線照射やプラズマによる材料の物性制御と新機能創出、カーボンニュートラルの科学

#### 【講演概要】

エネルギー総合工学研究所はエネルギーに関するシンクタンクで、地球環境、新エネルギー・電力システム、炭素循環、水素エネルギー、原子力などの分野で、調査研究や事業のフェージビリティスタディー、プロジェクトのとりまとめ、政策提言などを行うとともに、そこで得られた成果を社会に向けて発信している。本講演では、当研究所で昨年度取りまとめた「カーボンニュートラルビジョン2050」をベースに、第7次エネルギー基本計画の中でさらに検討が進められるさまざまなエネルギー技術の研究開発の現状と課題、カーボンニュートラルとエネルギー安全保障・経済発展を鼎立させる必要性等について解説する。



~~~~~休憩 10分~~~~~

### 4. 総合討論 (16:25-16:55)

司会: 吉川 暹 当会理事

### 6. 閉会の辞 森下 和功 当会理事 (16:55-17:00)